

〔発行所〕福岡空港調査連絡調整会議（ニュース発行事務局）

〒812-8577 福岡市博多区東公園7-7（福岡県空港対策局空港計画課内）

TEL:092-643-3172 FAX:092-643-3217

福岡空港調査連絡調整会議ホームページ <http://www.fukuokakuko-chosa.org/>

トピック

福岡空港調査PI（ステップ4）実施計画がまとまりました。

最終ステップのパブリック・インボルブメント(PI)について実施計画を定めました。

福岡空港調査PI（ステップ4）実施計画の概要

福岡空港の総合的な調査は、様々な催しなどを通じてみなさんに調査内容を提供し、それに対して幅広くご意見を収集しながら進めています。（このような手法をパブリック・インボルブメント(PI)といいます。）

平成17年度にステップ1、平成18年度にステップ2、平成19年度にステップ3のPIを実施した際にみなさんから寄せられたご意見や当会議のこれまでの経験などを踏まえ、ステップ4で行うPIの基本方針や催しなどをまとめた「福岡空港調査PI(ステップ4)実施計画」を作成しました。ステップ4では、オープンハウスや出前説明会の拡充、新たな催しとして「市民意見交換会」の開催を予定しています。なお、PIのスケジュールなど詳細な情報につきましては、後日決定し公表します。

<福岡空港調査PI（ステップ4）実施計画の概要>

基本方針

十分な周知広報を実施します。
多様で適切なPI手法を選定します。
わかりやすい情報の提供を実施します。
寄せられたご意見とそれに対する考え方を公表します。
中立・公正なPIを実施します。
適切な時間管理に努めます。

「総合的な調査」の最後のステップです。

ステップ4

対応案の比較評価と方向性(案)

(今回実施)

・評価の視点に基づく対応案の比較評価と方向性(案)を作成します。

今回は当調査の最終ステップにあたります。将来の福岡空港について「対応案の比較評価は?」、「今後の方向性(案)は?」といった情報を提供し、みなさんからのご意見を十分に把握することを目標とします。

ステップの位置づけと目標

ステップ1

課題と実現すべき政策的目標 (平成17年度実施済)

・福岡空港の現状と課題や空港能力の見極めについて検討しました。

<得られた結果>

福岡空港は九州、福岡の経済発展を支えており、今後も航空サービスの維持・向上が必要であること、また、空港の能力が限界に近づいており、一部には制約が生じ始めていること、今の敷地内での有効活用方策を図っても、若干の能力向上にとどまることが分かりました。

ステップ2

対応策を検討するための前提条件 (平成18年度実施済)

・地域の将来像と福岡空港の役割や将来の航空需要の予測について検討しました。

<得られた結果>

福岡空港については、海外、全国と福岡の相互交流、航空需要、速く・安く・快適な移動及び福岡・九州の自立的発展を支える役割が求められること、また、日本やアジア諸国の経済成長による交流の増加等から福岡空港の航空需要は伸びが見込まれ、2010年代初期には需要に十分応えられなくなるものと予想されることが分かりました。

ステップ3

評価の視点と検討すべき対応案

(平成19年度実施済)

・検討すべき対応案や対応案を評価する視点について検討しました。

<得られた結果>

将来需要への対応方策の検討について、「近隣空港との連携」は抜本的な対応方策になり得ないこと、「現空港における滑走路増設」は周辺地域への影響や滑走路の処理能力など多くの考慮すべき事項を踏まえた3つの滑走路配置例とその特徴、「新空港」は都心部からの距離や地形条件などから選出された2つの候補地ゾーンの特徴が分かりました。また、対応方策を比較する「評価の視点」については、「需給逼迫緩和の視点」など5つの視点が基本となることが分かりました。

実施内容

PI（ステップ4）は平成20年度に実施します。

PI（ステップ4）で予定している情報提供と意見収集の方法は多岐にわたるため、別に作成した「福岡空港調査PI（ステップ4）実施計画」のパンフレットをご覧ください。PI活動は、情報提供の開始からステップ4の終了まで、概ね4ヶ月程度を目安として実施します。

第9回福岡空港調査PI有識者委員会

平成20年7月16日(水)に第9回福岡空港調査PI有識者委員会が開催され、福岡空港調査PI(ステップ4)実施計画(案)についての審議が行われました。(傍聴者75名)

<出席者>福岡空港調査PI有識者委員会委員

委員長：石田 東生(筑波大学大学院システム情報工学研究科教授)
杉尾 政博(ジャーナリスト)
竹林 幹雄(神戸大学大学院工学研究科准教授)
藤田 和子(公認会計士)
山本 智子(弁護士)

<主な内容>

審議事項

(福岡空港調査PI(ステップ4)実施計画(案)の評価)

PI(ステップ4)実施計画(案)についての審議が行われ、次のことについて委員会として確認がなされました。

- 1) PIレポート等の情報提供物については、限られた時間内でPIを適正かつ効果的に実施する観点から極力早期にとりまとめるよう努めるとともに、必要十分な内容となることを念頭に置きつつわかりやすさにも配慮し作成すること。また、PIレポート等について、PIプロセスについて監視等を行う立場である本委員会に対して、早い段階で説明を行うこと。
- 2) PI手法の「出前説明会」については、市民からの開催曜日や時間などの要望に十分応えるよう努めること。また、「市民意見交換会」については、市民の十分な意見交換の機会を設けるため、状況に応じ複数回開催するなどの柔軟な対応を検討すること。
- 3) 市民からの案への賛否を含む意見については真摯に受け止め、今まで同様、実施報告書において、客観的な整理を行うこと。
- 4) PIを終了する際は、ステップ1からステップ4において効果のあった点、改善してきた点などをとりまとめ、整理すること。

以上については、右記のとおり実施計画(案)に関する評価書として、7月29日に福岡空港調査連絡調整会議に送付されました。

福岡空港調査PI有識者委員会の会議は傍聴可能です。

(詳しくは福岡市(総務企画局空港将来方策担当 TEL:092-711-4102)にお問い合わせください)

事務局から

福岡空港調査連絡調整会議ニュース第11号をお届けします。みなさんのご意見ご感想をニュース発行事務局までお寄せ下さい。

このニュースは福岡空港調査連絡調整会議ホームページ(<http://www.fukuokakuko-chosa.org/>)にも掲載しています。

福岡空港調査連絡調整会議・関係行政機関



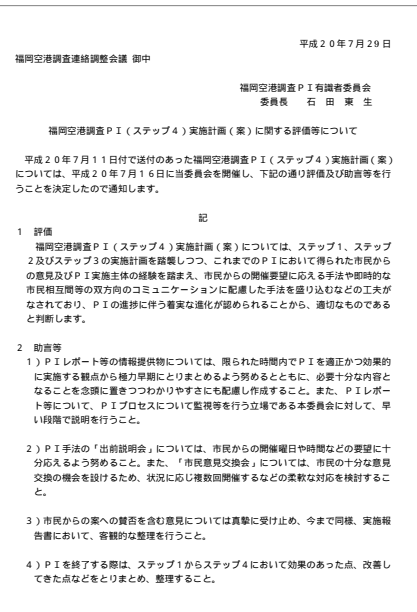
国土交通省九州地方整備局(空港PT室)
〒810-0074 福岡市博多区博多駅東2-9-13
東福ビル3F
TEL:092-432-0853 FAX:092-451-7396
<http://www.pa.qsr.mlit.go.jp>
国土交通省大阪航空局(空港企画調整課)
〒540-8559 大阪市中央区大手前4-1-76
TEL:06-6949-6469 FAX:06-6949-6218
<http://www.ocab.mlit.go.jp>



福岡県(空港対策局空港計画課)
〒812-8577 福岡市博多区東公園7-7
TEL:092-643-3172 FAX:092-643-3217
<http://www.pref.fukuoka.lg.jp>



福岡市(総務企画局空港将来方策担当)
〒810-8620 福岡市中央区天神1-8-1
TEL:092-711-4102 FAX:092-733-5582
<http://www.city.fukuoka.lg.jp>



福岡空港調査PI有識者委員会評価書

